

監査結果報告書

1 監査の実施日

令和4年6月22日（水）

2 監査の対象

碓ヶ関開発株式会社 代表取締役社長 桑 田 直 樹

3 監査の概要

出資団体である碓ヶ関開発株式会社に対し、令和3年度の会計経理及び財産管理状況、各種事業の運営状況、指定管理者として委託を受けた施設の管理状況について自主監査した。

監査に当たっては下記項目に主眼を置き、関係帳簿、振替・収入・支出伝票、仕入台帳等を総勘定元帳と照合、その他必要と認められる書類を点検したほか、経理担当職員から説明を聴取することにより監査を実施した。

【監査項目】

- (1) 定款並びに経理規定等は整備されているか。
- (2) 設立目的（出資目的）に沿った事業運営が行われているか。
- (3) 決算諸表等は法令等に準拠して作成されているか。
- (4) 事業成績及び財務状況は適正に決算諸表等に表示されているか。
- (5) 経営成績及び財政状況は良好か。
- (6) 人件費の内容、金額は事業規模に比較して適切か。
- (7) 関係帳票の整備、記帳は適切か。また、領収書等の証拠書類の整備、保存は適切か。
- (8) 会計経理及び財産管理は適切か。
- (9) 資金の運用は適切か。また、経費節減は図られているか。

4 監査の結果

事業の実施状況は、出資目的に沿って計画的かつ効率的に運営されており、関係伝票、諸帳簿と照合した結果、適正と認められた。

なお、売上高は前年度に比べ12,780,141円（6.4%）減の185,384,847円であるが、販売費及び一般管理費については、前年度に比べ4,651,583円（3.1%）増の153,614,302円となっている。当該年度純利益は△42,923,801円である。これは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響により、売上が減となったほか、温泉施設の休業要請や道の駅大改修工事が行われたことによるものである。当該施設は碓ヶ関地域の核となる施設であり、本市における観光の一翼を担っていることから、施設の大規模改修後は経営合理化を推し進め、商品や入浴料、食堂等の売上回復に努力し、さらにキッチンカーを活用した新たな事業の展開により、経常利益の黒字化をお願いしたい。

以下、項目ごとの結果について記述する。

(1) 令和3年度（第25期）決算について

令和2年度の委託事業を含めた営業成績は次のとおりである。

貸借対照表比較表
(令和4年3月31日現在) (単位：円、%)

科 目	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
流動資産	71,258,139	109,011,363	△37,753,224	△34.6
現金	2,096,594	2,314,153	△217,559	△9.4
預金	57,844,491	93,189,791	△35,345,300	△37.9
売掛金	995,454	933,720	61,734	6.6
商品券	1,000	861,000	△860,000	△99.9
未収入金	501,612	951,363	△449,751	△47.3
未収消費税	0	1,587,300	△1,587,300	皆減
商品	6,890,498	6,624,323	266,175	4.0
食材	2,729,412	2,360,389	369,023	15.6
製品	199,078	119,548	79,530	66.5
前払費用(貯蔵品)	0	69,776	△69,776	皆減
固定資産	9,883,864	14,358,771	△4,474,907	△31.2
(有形固定資産)	9,272,924	13,549,111	△4,276,187	△31.6
建物	768,073	906,059	△137,986	△15.2
建物付属設備	45,238	52,724	△7,486	△14.2
機械装置	1	2	△1	△50.0
車輛運搬具	3,952,549	5,925,860	△1,973,311	△33.3
工具器具備品	1,958,659	3,123,350	△1,164,691	△37.3
リース資産	2,548,404	3,541,116	△992,712	△28.0
(無形固定資産)	610,940	809,660	△198,720	△24.5
電話加入権	75,600	75,600	0	0.0
ソフトウェア	480,240	678,960	△198,720	△29.3
出資金	55,100	55,100	0	0.0
資産合計	81,142,003	123,370,134	△42,228,131	△34.2
流動負債	19,453,497	20,165,115	△711,618	△3.5
買掛金	5,709,944	6,378,643	△668,699	△10.5
未払金	10,158,871	10,297,473	△138,902	△1.3
前受金	5,000	0	5,000	皆増
預り金	1,622,682	3,308,999	△1,686,317	△51.0
未払法人税等	180,000	180,000	0	0.0

未払消費税	1,777,300	0	1,777,300	皆増
固定負債	73,010,318	71,603,030	1,407,288	2.0
長期借入金	60,000,000	60,000,000	0	0.0
リース債務	2,524,718	3,517,430	△992,712	△28.2
退職給与引当金	10,485,600	8,085,600	2,400,000	29.7
負債合計	92,463,815	91,768,145	695,670	0.8
資本金	20,000,000	20,000,000	0	0.0
剰余金	△31,321,812	11,601,989	△42,923,801	△370.0
当期末処分利益	△31,321,812	11,601,989	△42,923,801	△370.0
うち当期純利益	△42,923,801	3,894,418	△46818219	△1202.2
資本合計	△11,321,812	31,601,989	△42,923,801	△135.8
負債資本合計	81,142,003	123,370,134	△42,228,131	△34.2

【貸借対照表について】

・ 資産について

流動資産が71,258,139円で前年度より37,753,224円(34.6%)の減となっているが、預金が前年度より35,345,300円(37.9%)の減であったことが主な要因と思われる。

固定資産は9,883,864円で、前年度より4,474,907円(31.2%)の減となっているが、車両運搬具等の減価償却により、有形固定資産が前年度比4,276,187円(31.6%)減となったことが主な要因である。

以上により、資産合計は81,142,003円で前年度より42,228,131円(34.2%)減少している。

・ 負債について

流動負債が19,453,497円、で前年度より711,618円(3.5%)の減となっているが、預り金が前年比1,686,317円(51.0%)の減であったことが主な要因と思われる。

固定負債は73,010,318円で、前年度より1,407,288円(2.0%)の増となっている。要因としてリース債務992,712円(28.2%)減と退職給与引当金2,400,000円(29.7%)の増となったことが主な要因である。

以上により、負債合計は、92,463,815円で前年度より695,670円(0.8%)の増となっている。

損益計算書比較表

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位：円、%)

科 目	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
売上高	185,384,847	198,164,988	△12,780,141	△6.4
商品売上	74,072,919	80,757,479	△6,684,560	△8.3
食堂売上	77,287,484	79,360,136	△2,072,652	△2.6
その他売上	16,733,242	19,747,941	△3,014,699	△15.3
指定管理料及び受託料	9,878,000	10,532,000	△654,000	△6.2
業務受託料	5,848,544	5,848,544	0	0.0
自販機収入	1,564,658	1,918,888	△354,230	△18.5
売上原価	91,104,707	96,812,251	△5,707,544	△5.9
期首棚卸高	8,984,712	12,240,905	△3,256,220	△26.6
商品仕入	58,308,455	60,998,805	△2,690,450	△4.4
食材仕入	32,492,120	30,938,341	1,553,779	5.0
営業料支出	939,330	1,738,333	△799,003	△46.0
合計	100,724,617	105,916,511	△5,191,894	△4.9
期末棚卸高	9,619,910	9,104,260	515,650	5.7
売上総利益	94,280,140	101,352,737	△7,072,597	△7.0
販売費及び一般管理費	153,614,302	148,962,719	4,651,583	3.1
営業利益	△59,334,162	△47,609,982	△11,724,180	24.6
営業外収益	17,086,809	49,207,957	△32,121,148	△65.3
受取利息	123	122	1	0.8
補助金	15,662,000	49,030,917	△33,368,917	△68.1
雑収入	1,424,686	176,918	1,247,768	705.3
営業外費用	496,443	404,457	91,986	22.7
支払利息	491,985	381,457	110,528	29.0
雑損失	4,458	23,000	△18,542	△80.6
経常利益	△42,743,796	1,193,518	△43,937,314	△3,681.3
特別利益	0	2,880,900	△2,880,900	皆減
退職給与引当金戻入	0	2,880,900	△2,880,900	皆減
特別損失	5	0	5	皆増
固定資産除却損	5	0	5	皆増
税引前当期純利益	△42,743,801	4,074,418	△46,818,219	△1,149.1
法人税等	180,000	180,000	0	0.0
当期純利益（当期純損失）	△42,923,801	3,894,418	△46,818,219	△1,202.2
前期繰越利益剰余金（前期繰越利益）	11,601,989	7,707,571	3,894,418	50.5
当期末処分利益剰余金	△31,321,812	11,601,989	△42,923,801	△370.0

【損益計算書について】

売上高は185,384,847円で、前年度より12,780,141円(6.4%)の減である。

売上原価は91,104,707円で、前年度より5,707,544円(5.9%)の減となっており、差引売上総利益は94,280,140円で、前年度より7,072,597円(7.0%)の減となった。

販売費及び一般管理費は153,614,302円で、前年度より4,651,583円の増となり、率として(3.1%)の増となった。

営業利益は59,334,162円の赤字で、前年度より11,724,180円(24.6%)の赤字増となった。

また、営業外収益は17,086,809円で、前年度より32,121,148円(65.3%)の減であった。これは、補助金が前年度より33,368,917円(68.1%)の減となったことが主な要因である。

営業外費用は496,443円で、前年度より91,986円(22.7%)の増であった。

経常利益は△42,743,796円で、前年度より43,937,314円(3,681.3%)の減となっている。

また、特別利益の退職給与引当金戻入は皆減となった。

以上により、当期純利益は△42,923,801円で前年度3,894,418円と比較し、46,818,219円(1,202.2%)の減となった。

なお、前期繰越利益剰余金は11,601,989円であるため、当期純利益と前期繰越利益剰余金を合わせた当期未処分利益剰余金は、31,321,812円(370.0%)の減となっている。

売上総利益比較表

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位：円、%)

科 目		令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
売 上	商品売上	74,072,919	80,757,479	△6,684,560	△8.3
	食堂売上	77,287,484	79,360,136	△2,072,652	△2.6
	その他売上	16,733,242	19,747,941	△3,014,699	△15.3
	指定管理料	9,878,000	10,532,000	△654,000	△6.2
	業務受託料	5,848,544	5,848,544	0	0.0
	自販機手数料収入	1,564,658	1,918,888	△354,230	△18.5
	純売上高	185,384,847	198,164,988	△12,780,141	△6.4
仕 入	期首棚卸高	8,984,712	12,240,932	△3,256,220	△26.6
	期首棚卸高商品	6,624,323	9,363,548	△2,739,225	△29.3
	期首棚卸高食材	2,360,389	2,877,384	△516,995	△18.0
	商品仕入高	58,308,455	60,998,905	△2,690,450	△4.4
	食材仕入	32,492,120	30,938,341	1,553,779	5.0

営業料支出	939,330	1,738,333	△799,003	△46.0
期末棚卸高	9,619,910	9,104,260	515,650	5.7
期末棚卸高商品	6,890,498	6,743,871	146,627	2.2
期末棚卸高食材	2,729,412	2,360,389	369,023	15.6
売上原価	91,104,707	96,812,251	△5,707,544	△5.9
売上総利益	94,280,140	101,352,737	△7,072,597	△7.0

販売管理費比較表
(令和3年4月1日～令和4年3月31日) (単位:円、%)

科 目		令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
販売管理費	役員報酬 ※	4,046,000	3,996,000	50,000	1.3
	給与手当	51,237,690	45,648,247	5,589,443	12.2
	雑給	15,075,982	13,497,304	1,578,678	11.7
	賞与	9,285,118	12,218,381	△2,933,263	△24.0
	退職金	0	2,880,900	△2,880,900	皆減
	法定福利費	9,966,075	9,539,480	426,595	4.5
	福利厚生費	2,230,277	1,398,455	831,822	59.5
	消耗品費	3,399,292	5,407,282	△2,007,990	△37.1
	事務用品費	296,756	227,197	69,559	30.6
	賃借料	18,996	34,910	△15,914	△45.6
	保険料	483,842	554,670	△70,828	△12.8
	修繕費	445,514	864,047	△418,533	△48.4
	客用原価費	2,606,592	4,177,944	△1,571,352	△37.6
	租税公課	3,787,711	3,831,203	△43,492	△1.1
	減価償却費	4,975,402	3,808,254	1,167,148	30.6
	退職給付費用	2,400,000	2,400,000	0	0.0
	旅費交通費	47,250	49,600	△2,350	△4.7
	通信費	1,084,673	1,278,358	△193,685	△15.2
	水道光熱費	30,673,844	26,211,144	4,462,700	17.0
	支払手数料	926,576	931,018	△4,442	△0.5
運賃	150,318	143,261	7,057	4.9	
広告宣伝費	775,075	371,119	403,956	108.8	
接待交際費	166,844	44,049	122,795	278.8	
車輛関係費	350,836	802,116	△451,280	△56.3	
諸会費	196,480	212,830	△16,350	△7.7	
外注賃	185,500	0	185,500	皆増	

	衛生費	1,740,541	1,478,896	261,645	17.7
販売 管 理 費	会議費	114,000	114,000	0	0.0
	講習会費	10,000	0	10,000	皆増
	保守料	3,601,360	4,384,048	△782,688	△17.9
	リース料	284,056	256,355	27,701	10.8
	販売促進費	2,786,022	1,907,963	878,059	46.0
	まるめろ育成費	31,737	195,499	△163,762	△83.8
	寄付金	0	6,152	△6,152	皆減
	雑費	233,943	92,037	141,906	154.2
	地域活性化推進費	0	0	0	-
	貸倒損失	0	0	0	-
	合 計	153,614,302	148,962,719	4,651,583	3.1

※ 役員「」（代表取締役社長等）の報酬

【科目別売上総利益及び販売管理費について】

売上は純売上高が185,384,847円で、前年度より12,780,141円（6.4%）減となっている。主な要因は入所入浴料が休業要請などによりなくなったこと、商品売上が6,684,560円（8.3%）の減、食堂売上が2,072,652円（2.6%）の減となったことである。売上総利益は、94,280,140円で、前年度より7,072,597円（7.0%）の減となっている。

販売費及び一般管理費は、合計額が153,614,302円で、前年度より4,651,583円（3.1%）増となっている。主な要因は、給与手当、水道光熱費などが増となったことである。

指定管理及び委託事業の実施状況比較表
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位：円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
道の駅(竹っ子庵)	0	6,345,364	△6,345,364	皆減
御仮屋御殿	3,507,000	3,507,000	0	0.0
道の駅(かわや)	4,030,000	7,025,000	△2,995,000	△42.6
統括部門(会社)	17,086,809	36,038,822	△18,952,013	△52.6
碓ヶ関簡易駅	4,957,544	4,957,544	0	0.0
浄化槽センター除雪委託	396,000	396,000	0	0.0
久吉ダム清掃	495,000	495,000	0	0.0
合 計	30,472,353	58,764,730	△28,292,377	△48.1

令和3年度の指定管理料及び委託料の総額は30,472,353円で、前年度より28,292,377円(48.1%)の減となっている。主な要因は令和2年度の指定管理施設事業継続支援金等22,000,000円が減になったことによる。

事業別売上総利益及び事業別販売管理費
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

事業別売上総利益比較表

(単位：円、%)

区 分	売上総損益			
	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
竹っ子庵	16,245,669	16,061,388	184,281	1.1
御仮屋御殿	14,182,499	16,371,751	△2,189,252	△13.4
直売所	11,450,623	15,504,987	△4,054,364	△26.1
文化観光館(観光物産館)	38,615,104	40,541,067	△1,925,963	△4.8
道の駅かわや	4,030,000	7,025,000	△2,995,000	△42.6
碓ヶ関簡易駅	4,957,544	4,957,544	0	0.0
久吉ダム清掃	495,000	495,000	0	0.0
浄化槽センター除雪委託	0	396,000	△396,000	皆減
会社 ※	4,303,701	0	4,303,701	皆増
合 計	94,280,140	101,352,737	△7,072,597	△7.0

※ 会社には、浄化槽センター委託料、会社指定管理料、自販機手数料収入を含む。

事業別売上総利益は94,280,140円で、前年度より7,072,597円(7.0%)の減である。主な要因は、新型コロナウイルス感染症の影響と大規模改修工事により、道の駅全体で集客数が減少したことが挙げられる。

事業別販売費及び一般管理費比較表

(単位:円、%)

区 分	販売費及び一般管理費			
	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
竹っ子庵	16,753,239	13,016,184	3,737,055	28.7
御仮屋御殿	24,599,117	21,636,994	2,962,123	13.7
直売所	15,312,663	14,677,147	635,516	4.3
文化観光館	56,965,187	58,247,279	△1,282,092	△2.2
道の駅いかりがせき	4,252,467	5,080,259	△827,792	△16.3
統括部門(会社)	29,954,657	30,755,536	△800,879	△2.6
碓ヶ関簡易駅	5,330,927	5,130,774	200,153	3.9
浄化槽センター除雪※	0	0	0	-
久吉ダム清掃	446,045	418,546	27,499	6.6
合 計	153,614,302	148,962,719	4,651,583	3.1

※浄化槽センター除雪は令和2年度から統括部門で整理している。

事業別販売管理費は153,614,302円で、前年度より4,651,583円(3.1%)の増となっている。主な要因は、竹っ子庵の一般管理費が3,737,055円(28.7%)の増となっていることが挙げられる。

事業別経常利益比較表

■売上総利益－販売費及び一般管理費

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位：円、%)

区 分	令和3年度 営業利益	令和2年度 営業利益	増減額	増減率
竹っ子庵	△507,570	3,045,204	△3,552,774	△116.7
御仮屋御殿	△10,416,618	△5,265,243	△5,151,375	97.8
直売所	△3,862,040	827,840	△4,689,880	△566.5
文化観光館	△18,350,083	△17,706,212	△643,871	3.6
道の駅かわや	△222,467	1,944,741	△2,167,208	△111.4
統括部門(会社)	△25,650,956	△30,359,536	4,708,580	△15.5
碓ヶ関簡易駅	△373,383	△173,230	△200,153	115.5
久吉ダム清掃	48,955	76,453	△27,498	△36.0
合 計	△59,334,162	△47,609,983	△11,724,179	24.6

事業全体の経常利益は、59,334,162円の赤字で前年度の47,609,983円の赤字に対し11,724,179円(24.6%)の赤字増となっている。

委託事業の各施設集客実績比較表

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

区 分	種 別	令和3年度	令和2年度	増減	増減比
御仮屋御殿	入浴者数(人)	34,258	44,469	△10,211	△23.0
直売所	買物客数(人)	71,875	86,772	△14,897	△17.2
文化観光館	買物客数(人)	59,994	57,249	2,745	4.8
合 計		166,127	188,490	△22,363	△11.9

各施設集客実績は、166,127人で前年度より22,363人(11.9%)の減となっている。

主な要因は、新型コロナウイルス感染防止による温泉施設の休業要請や道の駅大規模改修により集客数の減少が挙げられる。

直売所（関の庄販売友の会）の農産物等月別売上実績比較表

（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

（単位：円、％）

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
4月	2,278,290	1,144,560	1,133,730	99.1
5月	3,922,070	2,779,900	1,142,170	41.1
6月	2,334,530	2,688,576	△354,046	△13.2
7月	2,500,730	3,451,540	△950,810	△27.5
8月	2,946,690	5,075,818	△2,129,128	△41.9
9月	3,338,060	5,550,305	△2,212,245	△39.9
10月	4,360,150	6,696,610	△2,336,460	△34.9
11月	3,697,560	4,851,285	△1,153,725	△23.8
12月	2,967,730	2,878,140	89,590	3.1
1月	1,523,850	1,633,270	△109,420	△6.7
2月	1,421,285	1,992,260	△570,975	△28.7
3月	1,756,510	2,522,080	△765,570	△30.4
合 計	33,047,455	41,264,344	△8,216,889	△19.9

○ 販売友の会状況について

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減
会 員 数	64人	64人	0人
1人当り売上金額	516,366円	644,755円	△128,389円

直売所「関の庄販売友の会」の会員数は、前年度と同じ64人となっている。合計売上金額は、33,047,455円で前年度より8,216,889円（19.9％）の減となっている。

文化観光館研修室利用状況

（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

（単位：人）

区分	令和3年度利用人員			令和2年度利用人員			増減数
	休 憩	団体食事	合 計	休 憩	団体食事	合 計	
4月		152	152		111	111	41
5月		80	80		10	10	70
6月		81	81		13	13	68
7月		40	40		105	105	△65
8月		76	76		36	36	40
9月		39	39		144	144	△105
10月		74	74		114	114	△40

11月		66	66		49	49	17
12月		120	120		42	42	78
1月		25	25		39	39	△14
2月		29	29		15	15	14
3月		96	96		96	96	0
合計		878	878		774	774	104

○ 文化観光館研修室利用状況増減（対前年度比）

合計利用人数	
増減数（人）	増減率（％）
104	13.4

令和3年度の利用人員は、878人で前年度より104人（13.4％）の増なっている。
 今後は継続的に各種イベント事業等のPR活動に努め、研修室利用者の増加を期待する。

(2) 各種イベント事業実績（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

1) 令和3年4月1日（土）～8月31日（火）

御仮屋御殿・お食事処 彩里

◇平川市日帰り入浴プラン（助成事業）

入浴券2回分付プラン（通常400円を3回分で500円）

お風呂・お食事セットプラン

（指定のメニューから選んだ食事が付いてお得な1,200円）

2) 令和3年6月5日（土）～6月6日（日）

文化観光館

◇さつき展示会 碓ヶ関さつきの会

3) 令和3年6月12日（土）

文化観光館

◇碓ヶ関公民館講座 ドコモスマホ教室

4) 令和3年6月19日（土）～20日（日）

◇キッチンカー出店

「道の駅」つるた 売上 ¥191,250円

- 5) 令和3年6月26日(土)
文化観光館
◇碓ヶ関公民館講座 切り絵教室
- 6) 令和3年7月3日(土)～7日(水)
◇御仮屋御殿臨時休業 (新型コロナ感染症対策 市からの要請)
- 7) 令和3年7月4日(日)
◇キッチンカー出店
「道の駅」おがわら湖 売上 ¥64,800円
- 8) 令和3年7月11日(日)
◇キッチンカー出店
「道の駅」もりた 売上 ¥135,000円
- 9) 令和3年7月26日(月)～28日(水)
◇直売所臨時休業
(仮店舗へ引っ越し)
- 10) 令和3年8月28日(土)～29日(日)
◇キッチンカー出店
ゆうネット平川OPEN記念 売上 ¥89,100円
- 11) 令和3年9月1日(水)～30日(木)
◇御仮屋御殿臨時休業
(新型コロナ感染症対策 県・市のパッケージ)
- 12) 令和3年9月11日(土)～12日(日)
◇キッチンカー出店
吹田自動車イベント 売上 ¥42,300円
- 13) 令和3年9月19日(日)
◇関の庄うまいもの市
各部署ごとのプレゼン企画
- 14) 令和3年10月2日(土)～3日(日)
◇キッチンカー出店
「道の駅」もりた 売上 ¥211,950円

- 15) 令和3年10月9日(土)～10日(日)
◇キッチンカー出店
「道の駅」つるた 売上 ¥174,600円
- 16) 令和3年10月23日(土)～24日(日)
◇五所川原エルムの街出店
リンゴ販売 売上 ¥71,151円
- 17) 令和3年11月6日(土)～7日(日)
◇クラフトマルシェ展・感謝祭
テント販売
- 18) 令和3年11月15日(月)～令和4年3月31日(木)
◇まんぞくプラン
(温泉に食事が付いたお得なセット)
- 19) 令和3年11月21日(日)
◇青森鍋まつり参加
南部町 たけのこ汁 売上 @300×382杯=¥114,600円
- 20) 令和3年11月27日(日)
◇特産物直売所リニューアルオープン
- 21) 令和3年12月11日(土)
◇キッチンカー出店
ひらかわマーケットぷらす 売上 ¥49,500円
- 22) 令和3年12月24日(金)～26日(日)
◇クリスマスフェア
各部署ごとのプレゼン企画
- 23) 令和3年12月31日(金)
◇彩里特性オードブル予約販売 売上 39件 ¥398,000円
- 24) 令和4年1月8日(土)～2月28日(月)
◇マルシチ醤油販売キャンペーン 売上 345,230円
- 25) 令和4年1月19日(水)～4月10日(日)
◇御仮屋御殿臨時休業
(新型コロナウイルス感染症対策 県・市のパッケージ)

26) 令和4年1月22日(水)

◇ i♡curry ㄱ関カーニバル

全国レトルトカレー販売 売上 ㄱ166,538 円

※令和2年度事業数 21 件

※キッチンカーについて

北津軽郡や五所川原方面で出店すると珍しがられ、売上が伸びている。遠方には出向かず、遠くて小川原湖を目途に行動範囲を定めている。9月、県内のキッチンカーまつりが小川原湖で開催されるので、参加する予定である。また、大館市のあめっこ市や秋田大祭など秋田県北地方にも攻める構想を立てている。

当市のキッチンカーの利点は焼台が2面ある。フル稼働すれば一度に300個は焼ける。他事業所のキッチンカーは焼台1面である。ただ、室内に熱がこもり熱射病になる可能性が危惧されている。

700万円の補助金に対し、内訳は車両が400~500万円、改造費150万円、焼台などの設備50万円となり。耐用年数は10年ほどとなっている。

出店は、土曜日が7万円ほど、日曜日は10万円ほどである。3~4年で元手は取れる予定である。